

## 今週（1月31日から2月4日）の短期金融市場動向

### ●インターバンク市場

今週のインターバンク市場は、無担保コールO/N物は、引き続き地銀の調達ニーズが強い状況が続いた。積み期中盤という事もあり、先週に続き動意に乏しい展開となった。一部では税揚げ後から調達ニーズがやや増加した先も見られた。レート目線は、都銀・信託業態で▲0.06～▲0.04%程度、地銀・証券・外銀業態で▲0.04～▲0.005%程度の気配で推移した。無担保コールO/N加重平均レートは、週を通して▲0.02%近辺で推移した。ターム物はショートターム物で▲0.01%近辺の出合いが見られた。日銀当座預金残高は、週初539兆円程度から始まり、2日の大幅な法人税・年金保険料揚げや各種の金融調節を受け、520兆円台後半まで減少した。

### ●レポ市場

今週のGC T/N物は出合い水準は概ね▲0.090～▲0.080%程度で推移した。週後半にかけて、レートは若干上昇した。SCはロールオーバーを中心に幅広い銘柄で取引が見られた。

### ●短国市場

今週の短国市場は、3Mゾーンを中心にやや堅調なマーケットとなった。

1日に実施された短国買入オペは、前回と同額(5,000億円)オファーされ、やや弱めの結果となった。

4日に実施された3M物の入札は、しっかりとした結果となった。結果発表後のセカンダリーマーケットでは、やや堅調に推移した。

### ●CP市場

今週のCP市場は、一部の業態で大型案件が見られたものの、案件に乏しいマーケットとなった。市場発行残高は、週を通して26兆円台半ばの高水準で推移した。1月末時点では26兆4,333億円と、月末ベースで20年の8月末（約25兆6,400億円）を上回る過去最高残高を更新した。

発行レートについては、先月の日銀金融政策決定会合にて4月以降のCP等買入オペの縮小および新型コロナ金融支援オペにおける民間債務担保の取扱い終了が決定されたものの、発行頻度の低い稀少銘柄や年度未越えの銘柄に関しては過去最低水準で決着するなど引き続き新型コロナ金融支援オペの担保を確実に確保しようとする動きが見られた。

### ●短期金融市場関連指標

	日経平均（円）	新発10年物 国債利回り（%）	為替 （ドル/円中心相場）	無担保コールO/N （加重平均・%）	東京レポレート(翌日 物・T+1スタート・%)	日銀当座預金残高 （億円）
1/31 (月)	27,001.98	0.170	115.43	△ 0.021	△ 0.086	5,390,800
2/1 (火)	27,078.48	0.180	115.15	△ 0.020	△ 0.086	5,362,300
2/2 (水)	27,533.60	0.175	114.70	△ 0.020	△ 0.086	5,262,800
2/3 (木)	27,241.31	0.175	114.45	△ 0.019	△ 0.084	5,273,600
2/4 (金)	27,439.99	0.195	115.00	△ 0.018	△ 0.082	5,269,200

## 来週（2月7日から2月10日）の短期金融市場動向

### ●経済カレンダー

	国内主要経済指標	国債等入札予定			海外主要経済指標
2/7 (月)	1月のマネタリーベースと日本銀行の取引(日銀 8:50) 12月の景気動向指数速報(内閣府 14:00)				12月の米消費者信用残高
2/8 (火)	12月の全世帯家計調査(総務省 8:30) 12月の毎月勤労統計調査速報(厚生労働省 8:30) 12月の国際収支(財務省所管・日銀作成 8:50) 12月の特定サービス産業動態統計速報(経済産業省 13:30) 1月の景気ウォッチャー調査(内閣府)	10Y物価連動 2,000億円 2/9発行	交付税借入 11,000億円 2/18借入		12月の米貿易収支
2/9 (水)	1月のマネーストック(日銀 8:50)	TB6M 34,000億円 2/10発行			12月の米卸売売上高
2/10 (木)	1月の企業物価指数(日銀 8:50)	TB3M 57,000億円 2/14発行	流動性供給 5,000億円 2/14発行	エネルギー 対策借入 6,500億円 2/21借入	1月の米財政収支 1月の米消費者物価指数
2/11 (金)	建国記念の日				2月のミシガン大消費者信頼感指数速報 10-12月期の英GDP速報値

### ●資金需給予想

単位：億円	銀行券要因	財政等要因	資金過不足	オペ種類	期日分	新規実行分	オペ合計	実質過不足	需給要因
2/7 (月)	500	2,700	3,200	国債補完 CP買入 ETF買入	100 ▲300	700	500	3,700	TB3M発行▲50000償還50000
2/8 (火)	0	1,000	1,000				0	1,000	
2/9 (水)	0	▲2,000	▲2,000	社債買入		1,300	1,300	▲700	10Y物価連動発行▲2000
2/10 (木)	▲1,000	4,000	3,000				0	3,000	TB6M発行▲34500償還32100 交付税借入▲11000期日11000
2/11 (金)	建国記念の日								
週間合計	▲500	5,700	5,200	—	▲200	2,000	1,800	7,000	

### ●短期金融市場の見通し

インターバンク市場は、引き続き地銀業態の強い調達ニーズを背景に、レートは強含みで推移すると予想される。レポ市場は、積み終盤に向けて参加者のスタンスに変化があるか、注目される。短国市場は、9日に6M物、10日に3M物の入札が実施予定となっている。6M物は前回から500億円減額、3M物は7,000億円増額される予定となっている。需給やレート水準を含め、市場動向が注目される。CP市場は10日にCP等買入オペが5,000億円で実施予定となっている。市場残高が過去最高水準で推移する中、直近の按分レートは低下しており、按分レートがどの程度で決着するのか注目される。

主要なイベントは、海外では10日に1月の米消費者物価指数、11日に10-12月期の英GDP速報が予定されている。

◆本資料は信頼できると思われる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。  
◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされまようようお願い申し上げます。  
◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等を負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目論見書をよくお読みください。